



学校祭  
7月23日～24日

## 「太陽～君に見せたい夏がある～」

学校祭実行委員長 齋藤千鶴

「太陽～君に見せたい夏がある～」をテーマに掲げて、大成功を収めた学校祭。今年度は例年よりも準備期間を延ばし、よりよい学校祭を目指しました。さらに、一年生のオブジェコンクール、二年生のダンスの一般公開など新たな企画を行いました。今までの学校祭のスタイルとは大きく変わった為、不安な点はありましたが、全校生徒一丸となり新しい学校祭を造り上げることができました。

オブジェやダンスは各クラスの個性が溢れて、すばらしかったです。また、クラス企画は老若男女問わず、大いに楽しむことができました。中央生はもちろん、学校祭に来ている人全員が楽しめるものになったと思います。

生徒会執行部、文化委員や実行委員、そして全校の“やる気”が一つになり、大きな力になったと感じられました。今年の学校祭は、太陽の様にあついあつい最高の学校祭になりました。



## 学校祭私感

校長 山田陽介

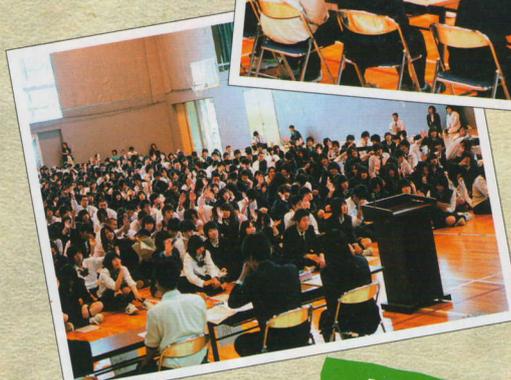


折り紙を4等分して隣の輪と交差させ端と端とをのり付けする。板を線に沿って切り、釘で打ち付けて色を塗る。大判用紙を貼り合わせて下絵を描き色を塗る。机や椅子を重ねて固定し、段ボールを組み合わせてガムテープで貼り付ける。段ボールを集めまわったり、店と学校の間を額に汗しながら何度も往復したり、納得のいくまで試作したり、おもてに表れない多くの作業が完成の時を思っ一心に続く。学校祭前の生徒たちの一コマだ。

40年前。いつのことだと聞き返されるような昔だが、黒い柱状のものにいろいろの色の空き瓶をくくりつけ、それを数本地面に配置して「夢譚」と題する空間をデザインしたことがある。我が高校時代の学校祭での出し物だった。友人の発想で、私は手足となって動いただけのだが、完成した時にその一隅が何か不思議な空間に変貌した気がした。

一所懸命やった。他の仲間とその時間を共有して一つのを成し遂げた充実感。このことでがんばれた、この次のこともがんばれよう。先生方からお膳立てされるのではなく、自分たちで創り上げていく。そのパッションとエネルギー。学校祭の成功を期して努力する一連の過程で、授業では学べない実に多くのことを、君たちはお互いの支え合いをとおして学んでいるのだ。こうした行事を大切にしたい。今年、課題が残ったにせよ、「太陽～君に見せたい夏がある～」、そのテーマの意図するところに迫る学校祭ではなかったか、と私は思っている。

生徒総会  
(5月26日)



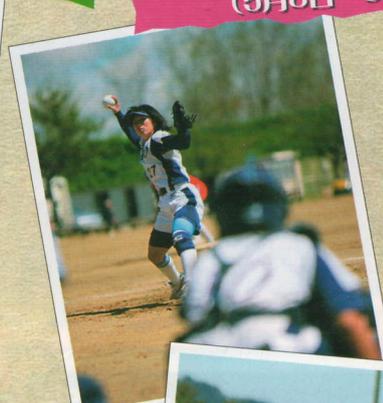
入学式  
(4月8日)



地区総体壮行式  
(5月6日)



田川地区春季地区総体  
(5月8日~9日)



花壇作成

生徒育成部長 富樫 護

平素より会員、役員の皆様には、育成部の活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。先般、大変暑い中でしたが、育成部役員の皆様と、多数の生徒さんのご協力を頂き、校舎南側にあるクラス花壇8カ所に色とりどりの花壇苗を定植したところです。それぞれに花の色や、種類を使い分け、楽しいデザインで植え付けました。来年は、花の種類の高低も考え、立体的なデザインにしよう、などの意見もいただき、心地良い汗をかきながらの作業でした。難解なデザインもありますが、生徒さんも会員の皆様も接する機会がございましたら、制作コンセプトをさがし当てて見て下さい。

児童虐待やいじめ等の報道が相次ぎ殺伐とした昨今ですが、皆で汗をかって植付けた花たちが、皆様の心に一時の安らぎを与えてくれればと思う次第です。除草や水やり等の大変な管理作業は学校まかせになります。が、愛情をそそいで育てていただき、きれいな花が晩秋までもより長く楽しめることを願っています。

PTA生徒育成部  
生徒花壇づくり(6月26日)



## 留学生紹介



アメリカ ワシントン州サムナー高校  
マルコム アナ  
Malcolm Bourgeois Anna Gonzalez

私の子どもも三番目がとうとう高校に入学し、学校に携わるのも最後の三年になりました。私で良ければ、今年度、年次部長を引き受ける事になり、身の引き締まる思いです。子ども達は入学して五ヶ月が過ぎ、たくさんの新しい出会いを経て本当の仲間が出来ようとしています。保護者の皆様も、知らない人ばかりだから参加しないなんておっしゃらず、研究会や懇談会等々に参加して、子どもに負けないくらいにたくさんの出会いを求めて、学校に足を運んでいただきたいと思っています。大勢の呼びかけと皆様の参加をお願いしつつ一年間務めてまいります。

## たくさんの出会いを

一年次部長 上野 修

## 高P早くも折り返し地点

二年次部長 伊藤 隆

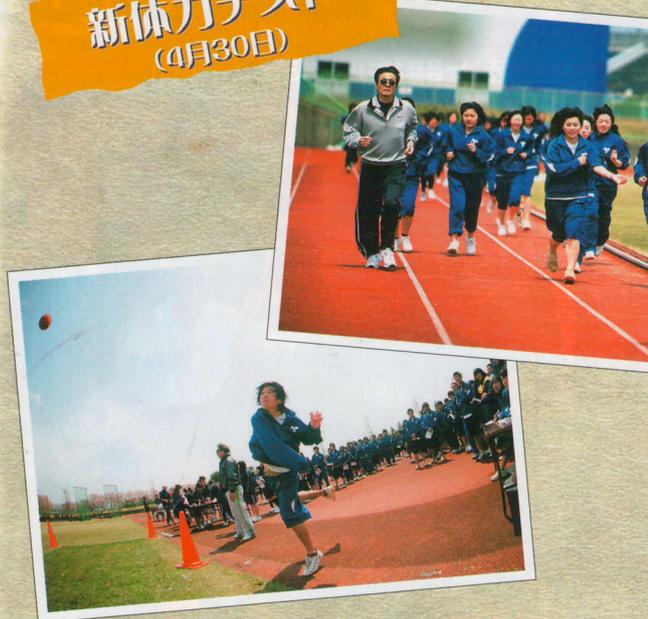
早いもので、息子も二年生。昨年参加できなかった学校祭や合唱などのイベントに、今年は参加することが出来ました。各イベントとも中央高生の躍動感あふれる姿に感動を覚えたところです。子ども達もそれぞれ仲間とともに青春を謳歌しているんだと。今年最初の学級PTAで、ある方が言われたことを改めて感じています。「子どもが中央高校に入学し、親達がこうして出会えたことも何かの縁！子ども達に負けないで親たちも楽しもう！」人数が多くて大変な面もありますが、学級懇親会を中心に、最終学年に向け益々盛り上がりつつあります。

## 有終の美を飾ろう

三年次部長 松田 透

原稿を書いているのは八月。七月の学校祭における出店では、大勢の有志の方にご協力いただき、昼過ぎに完売することができました。最終学年での一大イベントに少しは貢献できたのではないかと思います。さて、三年間の高校生活は本当にあつという間です。夏休み後は、進路について親としてどう関わり、どう支援していくのかという最終段階を迎えます。子どもとの対話を深め、よりよい進路選択ができるように一丸となつて進んでいきましょう。中央高で同じ時を過ごした子どもも親もみんなが仲間。全員の力を結集して笑顔でゴール(卒業式・祝賀会)を迎えましょう。

## 新体力テスト (4月30日)



# 美ら島沖縄総体 (インターハイ)

## 陸上競技 (7月29日~8月2日)



経験

### 1年3組 齋藤早希

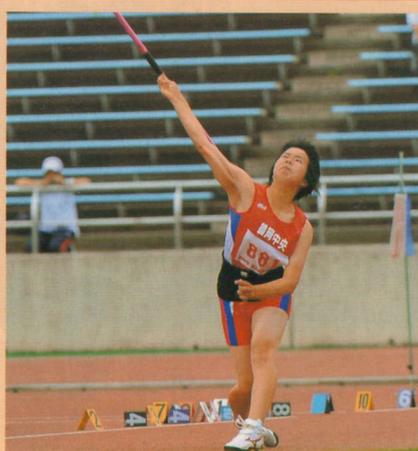
私は、一年生でありながら、沖縄で開催されたインターハイに出場させていただきました。しかし、試合前の練習でも、本番でも、良い投げをすることができず、予選敗退という悔しい結果で終わってしまいました。やはり、大きな大会で結果を残すことは、難しいことだと痛感しました。

今回のこの悔しさをバネにし、日々お世話になっている方々への感謝の気持ちを忘れずに、心・技・体をしっかりきたえて、次の大会から気持ちを切り替えて、いつでもチャレンジ精神をもって頑張りたいと思います。

### 3年2組 奥泉 舞

このインターハイは、私にとって集大成の試合でした。結論からいうと思うような成績を全国という場で出すことはできませんでしたが、とても貴重な体験をさせていただきました。全国の選手と戦っていかにか自分の考え・技術が甘かったか痛感しました。

話はそれますが、3年間活動してきて、私自身とても成長できました。中でも周りの支えが自分が成長していく上でとても大切なことだと思いました。そんな中で自分が活動できたことを幸せに思います。次は支えて頂いた分、私が周りのために部活で養ってきたことを生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。



### 2年7組 菅原由香

沖縄インターハイに出場できてとても嬉しかったのですが、全国という舞台上で強い人が集まり、その雰囲気にもまれてしまいました。強い人と戦えたのは良かったのですが、自分の力を出し切ることができずに終わってしまいました。緊張はしなかったのですが、普段の投げができませんでした。ですが、たくさんの方を学ぶことができました。学んだことをこれからの練習に生かして直すところは直し、伸ばすところは伸ばしてこれからがんばって行きたいと思います。大きい舞台でも自分の力を出せるように自信をつけて一つ一つの試合を大事に戦って行きます。



## アーチェリー (8月2日~4日)



### 3年1組 齋藤麻衣

インターハイに出場してきてどうだったかを一言で表すと「楽しかった」が一番ぴったりだと思う。最終的に三本木農業に負けてしまい、悔しくなかったと言ったら嘘になる。だが、それ以上に沖縄の地で射ったことの嬉しさや達成感、何よりものびのびと悔いなく射つことができた気持ち良さ。それら全てをまとめて「楽しかった」が一番だ。多くの仲間や家族に背中を押され、射つことができたあの瞬間はとても幸せだった。本当にたくさん感謝したい。あの一瞬一瞬が思い出になってしまうのは悲しいが、中央アーチェリー部であることに誇りを持ち、これからもいろいろと頑張りたい。

## 弓道 (7月29日~31日)



### 2年1組 小関千晶

夏の沖縄は、じめじめとした暑さが毎日続き、庄内とはまた違う感じでした。全国の舞台で射ができることは、とても楽しく、嬉しかったです。私たちのチームは予選11中と普段通りの力を発揮し、予選を通過しました。個人的にもいい射ができました。決勝トーナメント一回戦では岩手県伊保内高校とあたり、10中対7中で負けてしまいました。しかし、チームの当初の目標であった予選通過を達成できたので、良かったと思います。

2年連続インターハイ出場を目指して、新チーム一丸となってこれからの練習を頑張りたいです。